

令和2年度事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、2年4月及び3年1月からの2回にわたる政府の緊急事態宣言が発出され社会生活に大きな影響を及ぼした。動物衛生状況を振り返ると、令和2年11月に香川県で発生したH5N8型の高病原性鳥インフルエンザは、その後西日本を中心に多発し、令和3年3月末時点で18県52事例(防疫措置対象羽数:約1000万羽)に達し、例年のない大発生となった。また、平成30年9月に岐阜県で26年ぶりに発生した豚熱は、令和元年3月に経口ワクチン散布による野生いのしし対策を、10月には発生地域における予防的ワクチン接種を開始したが、感染地域は徐々に拡大し、令和3年3月末時点で、岐阜県、愛知県、長野県、三重県、福井県、埼玉県、山梨県、沖縄県、群馬県、山形県、和歌山県、奈良県(12県)での発生が確認されており、野生イノシシでは発生県を含めた24都府県(令和3年3月)で陽性事例が確認されている。さらに、平成30年8月に隣国中国への侵入で始まったアジアのアフリカ豚熱は、ほぼアジア全域に拡大しており、近隣国としては韓国、フィリピンにまで及んでいる。我が国では、このような越境性家畜伝染病に対して水際検疫の強化に努めているが、動物用医薬品業界としても、継続して関係機関等と連携して家畜防疫体制の強化に協力していかなければならない状況である。

動物薬事に関する重要課題である「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン2016ー2020」は、期間を延長して2021年が最終年度となる見込みであるが、これまで我が国では硫酸コリスチンを始めとする抗菌性物質系飼料添加物の指定取り消し等の対策が進行中である。一方、One Health の考え方を踏まえた動物用抗菌性物質(動物用医薬品及び飼料添加物)の適正使用及び慎重使用を推進するには、小動物臨床現場における医薬品の使用等の課題への対応が求められており、今後も継続した取り組みが必要となっている。

また、令和元年12月に公布された薬機法改正事項のうち、令和2年度は先駆的医薬品等の指定、条件付き早期承認制度の創設や輸入確認制度等に関する関係省令の改正・施行が9月1日に行われた。

このように動物用医薬品業界を取巻く環境が大きく変化する中、本協会は動物用医薬品等の製造販売業者等を会員とする公益法人として、各種公益事業及び業界関係者相互協力事業等に必要な活動に取り組んだ。

公益目的事業としては、農林水産省の補助事業(2件)及び(独)農畜産業振興機構の補助事業(1件)を実施した。これらの事業において、緊急時に備えた動物用ワクチン供給体制の維持、動物用医薬品の輸入手続きの手引書の策定に取り組んだ。また、動物用医薬品の承認申請資料に関する国際基準作成推進事業(農林水産省補

助事業)においては、オンラインで開催された第39回 VICH 運営委員会及び第13回 VICH アウトリーチフォーラムに参加するとともに、VICH 活動で策定されたガイドラインを東南アジア等 VICH 活動に関心を寄せる国・地域機関に普及啓発することを目的として、教育用ビデオを作成した。

さらに、自主事業として毎年開催している第52回学術講習会では、「薬機法の改正」の他、「動物とヒトのコロナウイルス」及び「動物愛護管理法改正による販売用犬・猫等へのマイクロチップの装着・登録の義務化」についての講演を行い、第41回目となった動物用医薬品管理者講習会は、新型コロナウイルス感染状況に鑑み、eラーニング方式で実施した。

次に、業界関係者相互協力事業の一環として薬機法違反の再発防止のためにコンプライアンス遵守活動に取り組んでおり、令和2年度もコンプライアンス推進委員会を中心に、法令遵守体制の自己点検などを行い、薬事責任担当者会議もeラーニング方式で実施した。

なお、令和2年度下半期は理事会、委員会及び補助事業関連会議等は殆どオンライン若しくは電子的方法で実施し、新型コロナウイルス感染症蔓延防止に努めた。

1 会員の異動

1 正会員

令和元年度末の正会員数は、65所社であった。

令和2年度に以下のような種別変更、統合及び退会があった。

(1) 令和2年4月1日に、イプラ・ジャパン(合)が賛助会員から正会員に種別変更。

(2) 令和2年9月30日に、バイエル薬品(株)(動薬部門)のエランコジャパン(株)への統合。

(3) 令和3年3月31日に、JNC(株)及び日本農薬(株)が、退会。

その結果、令和2年度末の正会員数は、63所社となっている。

2 特別会員

令和元年度末の特別会員数は、9所社であった。

令和2年度に以下のような退会があった。

(1) 令和3年3月31日に、学校法人酪農学園大学が退会。

その結果、令和2年度末の特別会員数は8所社となっている。

3 賛助会員

令和元年度末の賛助会員数は、11(所社・人)であった。

令和2年度に以下のような種別変更があった。

(1) 令和2年4月1日に、イプラ・ジャパン(合)が正会員に種別変更。

その結果、令和2年度末の賛助会員数は10(所社・人)となっている。

2 総会及び理事会

令和2年度において、通常総会、3回の通常理事会及び1回の臨時理事会を開催した。これらの会議開催日・期間、場所及び議題は、次のとおりである。

(1) 第1回通常理事会

開催日:令和2年5月12日(火)

場所:決議の省略により実施

議題:

【議決事項】

第1号議案 令和元年度事業報告及び計算関係書類の承認に関する件

第2号議案 第53回総会の日時、場所、目的事項に関する件

第3号議案 役員を選任に関する件

第4号議案 協会の各種規程類の一部改正に関する件

(2) 第53回通常総会

開催日:令和2年6月5日(金)

場所:KKR ホテル東京(瑞宝の間)

議題:

【議決事項】

第1号議案 令和元年度計算関係書類に関する件

第2号議案 令和2年度会費等の額及び納入方法に関する件

第3号議案 役員を選任に関する件

第4号議案 公益社団法人日本動物用医薬品協会役員報酬等及び費用に関する規程の改正に関する件

第5号議案 公益社団法人日本動物用医薬品協会総会運営規則の改正に関する件

【報告事項】(資料のみ)

1) 令和元年度事業報告及び附属明細表について

2) 令和2年度事業計画書及び収支予算書について

(3) 第1回臨時理事会

開催日:令和2年6月5日(金)

場所:KKR ホテル東京(平安の間)

議題:

【承認事項】

第1号議案 理事長、専務理事及び常務理事の選定に関する件

(4) 令和2年度第2回通常理事会

開催日:令和2年10月6日(火)

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:

【承認事項】

- 第1号議案 コンプライアンスの推進に関する件
(令和2年度法令遵守体制の自己点検チェックリストの承認)

【報告事項】

- 1) 令和2年度上半期の事業活動報告について
- 2) 業務執行理事の職務報告について
- 3) 令和2年度下期の行事予定について
- 4) 会員の退会について
- 5) 他団体の行事に対する協賛について

(5) 令和2年度第3回通常理事会

日時:令和3年3月16日(火)

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:

【承認事項】

- 第1号議案 令和3年度事業計画に関する件
第2号議案 令和3年度予算に関する件
第3号議案 令和3年度会費賦課方針に関する件
第4号議案 諸規程の一部改正等に関する件

【報告事項】

- 1) 令和2年度下半期の事業活動報告について
- 2) 業務執行理事の職務報告について
- 3) 令和2年度法令遵守体制の自己点検の集計結果について
- 4) 会員の退会について
- 5) 令和3年度における主な行事予定について
- 6) HealthforAnimals の活動状況について
- 7) VICH の活動状況について

3 総務委員会

令和2年度において、次のとおり、1回の総務委員会を開催した。

(1) 令和2年度第1回総務委員会

開催日:令和3年3月10日(水)

方法:Microsoft Teams による Web 会議

【議 題】

- 1). 令和3年度事業計画に関する件
- 2). 令和3年度予算に関する件
- 3). 令和3年度会費賦課方針に関する件
- 4). 協会諸規程の一部改正等に関する件

4 動物用医薬品等の学術の振興及び普及に関する事業(公益1)

動物に使用する医薬品、医薬部外品、医療機器及び再生医療等製品(以下「動物用医薬品等」という。)に関する最新の学術情報、許可・承認情報並びに関連情報を、講習会の開催、書籍・情報誌の刊行、ホームページにより提供し、動物用医薬品等に対する一般社会の理解の醸成と動物用医薬品関連業務に関与する者の資質の向上を図り、動物用医薬品等の開発促進と安定供給に資することを目的とする事業である。

(1) 第52回学術講習会

開催日:令和2年10月15日(木)

場 所:日本教育会館(一ツ橋ホール)

※新型コロナウイルス感染拡大対策として座席間の間隔を十分とる等の対策を実施。

参加者:総計179名(会員:160名、一般他:19名)

講演内容:

1. 薬機法の改正について

農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐 関口 秀人

2. 動物とヒトのコロナウイルスについて

北里大学 獣医学部 名誉教授 宝達 勉

3. 動物愛護管理法改正による販売用犬・猫等へのマイクロチップの装着・登録の義務化について

公益社団法人 日本獣医師会 副会長・専務理事 境 政人

(2) 第41回動物用医薬品等製造販売管理者講習会

開催方法:HP での動画公開方式による e-ラーニング。

公開日:令和3年2月24日(水)13:00~3月26日(金)17:00

受講者:総計418名(会員:339名 一般:57名 県22名)

講演内容:

1. 動物薬事制度について

2. 動物用医薬品等の製造管理及び品質管理(GMP)について

3. 動物用医薬品等の製造販売承認申請の手続について

4. 動物医薬品等の製造販売業の許可申請等の手続きについて

(3) 広報活動事業

公益事業活動の一層の推進を図るため、ホームページ収載事項を更新し、動物用医薬品等に関する普及並びに適正使用の推進のための広報活動を展開する。

ア 動物用医薬品等関係通知等を逐次掲載

会員等への広報活動を実施した。令和2年度(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)は、合計97件の通知等情報を掲載。

(4) 会議の開催

令和2年度において、次のとおり、活動した。

ア 令和2年5月、以下について、広報・教育委員会委員に対してメールにより意見照会。

- ①JVPA DIGEST第68号の編集について
- ②JVPA DIGEST第69号の企画について
- ③国際情報132号の編集について
- ④国際情報133号の企画について
- ⑤第52回学術講習会の開催について

イ 第1回広報・教育委員会

開催日:令和2年9月17日(木)

場所:日本教育会館704号室

- 議題:1. JVPA DIGEST第69号の編集について
2. JVPA DIGEST第70号の企画について
3. 国際情報第133号の編集について
4. 国際情報第134号の企画について
5. 第52回学術講習会の開催について

ウ 第2回広報・教育委員会

開催日:令和3年1月19日～25日

方法:電子メールによる協議

- 議題:1. JVPA DIGEST第70号の編集について
2. JVPA DIGEST第71号の企画について
3. 国際情報134号の編集について
4. 国際情報135号の企画について
5. 第41回動物用医薬品等製造販売管理者講習会の開催について

(4) 会報等配布事業

ア 動物薬事

第58巻第4号(No.691)～第59巻第3号(No.702)

毎月25日に発行

イ JVPA DIGEST

第68号 令和2年6月に発行

第69号 令和2年10月に発行

第70号 令和3年2月に発行

ウ 国際情報

第132号 令和2年6月に発行

第133号 令和2年10月に発行

第134号 令和3年2月に発行

(5) 関係図書発行

ア 動物薬事関係法令集 2020年版(上・下巻) の発行

発行時期: 令和2年11月

発行部数: 400部

イ 動物用医薬品等製造販売指針 2021年版 の発行

発行時期: 令和3年2月

発行部数: 400部

5 動物用医薬品等の関係法令等の調査及び研究に関する事業(公益2)

動物用医薬品等に関する内外の法制度、許可・承認ガイドライン、並びに開発・改良や製造技術の向上に資する調査研究を行い、製造販売業等の許可や製造販売承認の迅速化及び円滑化への提言活動等により、開発促進と安定供給に資する事業である。

(1) 補助・助成事業

【動物用医薬品の承認申請資料に関する国際基準作成推進事業】

(令和2年度国庫補助事業)

動物用医薬品の承認審査資料に関する日、米、欧の3極による国際基準作成のための情報収集・分析及び調査と国際会議の開催を行い、適正な審査資料の作成及び迅速な承認審査の促進に資することを目的とする事業である。

令和2年度において、開催・出席した会議は、次のとおりである。

ア 国際会議の開催・参加

ア) 第1回 VICH コーディネーター会議(Web 会議)

開催日:令和2年6月5日(金)21:00~22:00

場所:協会事務局からGoToMeetingにより参加

議題:第39回VICH運営委員会(SC)会合、第13回VICHアウトリーチ
フォーラム(VOF)会合の開催について

イ)第2回VICHコーディネーター会議(Web会議)

開催日:令和2年9月24日(木)21:00~22:00

場所:AP新橋からGoToMeetingにより参加

議題:第39回SC会合、第13回VOF会合の開催について

ウ)第39回SC会合・第13回VOF会合

開催日:令和2年11月16日(月)~19日(木)

方法:GoToMeetingによるWeb会議

エ)第3回VICHコーディネーター会議

開催日:令和3年1月14日(木)21:30~23:00

方法:GoToMeetingによるWeb会議

オ)VOF webinar follow up 会議

開催日:令和3年2月9日(火)21:30~22:30

方法:GoToMeetingによるWeb会議

カ)第1回特別VICH運営委員会

開催日:令和3年2月25日(木)21:30~23:00

方法:GoToMeetingによるWeb会議

イ 国内対応会議の開催

ア)VICH Biologicals EWG 作業に関する打合せ会

開催日:令和2年9月7日(月)

場所:動物医薬品検査所

議題:1. モノクローナル抗体安全性評価ガイドライン案のスタイルについて
2. モノクローナル抗体安全性評価ガイドライン案の構成について
3. VICH Bio-products Safety Sub group の活動報告について

イ)第1回企画調整委員会

開催日:令和2年11月6日(金)

方法:Microsoft TeamsによるWeb会議

議題:1. 第39回SC会合・第13回VOF会合の予定議題に関する検討に
ついて

ウ)第2回企画調整委員会

開催日:令和2年11月12日(木)

方法:Microsoft TeamsによるWeb会議

議題:1. 第39回 SC 会合・第13回 VOF 会合の予定議題に関する検討について

エ) VICH 第1回バイオリジカルズ専門委員会(バイオ医薬品安全性試験サブグループ)会議

開催日:令和2年12月25日(金)～令和3年1月18日(月)

方法:メール方式

議題:

1. バイオ医薬品安全性試験サブグループの当面の作業について

オ) VICH 第2回バイオリジカルズ専門委員会(バイオ医薬品安全性試験サブグループ)会議

開催日:令和3年1月20日(水)

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:

1. バイオ医薬品安全性試験ガイドライン(仮称)の「Introduction(案)」について

カ) VICH 第3回バイオリジカルズ専門委員会(バイオ医薬品安全性試験サブグループ)会議

開催日:令和3年3月8日(月)

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:

1. 動物用モノクローナル抗体医薬品の対象動物安全性評価ガイドライン(素案)の作成について

(1) 令和2年度新技術を活用した動物用医薬品等基準等作成推進事業における「抗体薬品の安全性評価に関する指針(素案)」の検討状況について

(2) VICH ガイドライン(素案)の作成スケジュールについて

ウ 国際基準の普及啓発資料の作成

① VICH—General Principles and Invitation to VICH Activity (VICH 紹介) 教育訓練用DVD(暫定版)

② 「臨床試験の実施基準(GCP)」の日英対訳冊子

(2) 常設委員会の開催等(自主事業)

ア 薬事委員会

ア) 令和2年度第1回薬事委員会

開催日:令和2年7月28日(火)

場所:TKP 神田ビジネスセンター ANNEX ミーティングルーム8F

- 議題:1. 第27回動物薬事問題定例協議会の議事進行について
2. 第28回動物薬事問題定例協議会に向けた準備について

イ 動物薬事問題定例協議会の開催

開催日:令和2年7月28日(火)

場所:TKP 神田ビジネスセンター ANNEX ホール8J

- 議題:1. 第27回動物薬事問題定例協議会提案事項に対する回答及び質疑応答
2. 農林水産省からの説明(製造販売承認申請等における留意点について)
3. 喫緊の課題に関する協議(意見交換)

※(「動物用医薬品の承認審査等に関する要望書」令和2年8月25日提出)

ウ 動物薬事関係事項の意見募集等

ア) 第28回動物薬事問題定例協議会に向けた提案事項

募集期間:令和2年8月18日～9月18日

イ) 改正薬機法の施行に関する意見

募集期間:令和2年11月27日～12月18日

意見提出:令和3年1月22日(農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課宛て)

エ 国際対応委員会

ア) 令和2年度第1回国際対応委員会

開催日:令和2年11月4日(水)

場所:Microsoft Teams による Web 会議

議題:1. 第39回 SC 会合及び第13回 VOF 会合の予定議題に関する検討について

イ) 令和2年度第2回国際対応委員会

開催日:令和2年11月10日(火)

場所:Microsoft Teams による Web 会議

議題:1. 第39回 SC 会合の予定議題14に関するJVPAの対処方針(案)の修正について

オ その他

ア) HealthforAnimals 第81回理事会

開催日:令和2年10月15日(木)20:00～

方法:GoToMeeting による Web 会議

議題:

1. IDEXX 社の新規加入
2. 新理事の指名 (IDEXX 社代表、JVPA 代表 (池田理事長))
3. 2020年度事業報告及び2021年度事業計画の採択と各種施策の決定
4. 2021年予算計画の承認
5. 2022年以降の協会会費の方針見直し

イ) HealthforAnimals 第 31 回総会、第 82 回理事会

開催日:令和3年3月11日(木)21:00～

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題(総会):

1. 2020年会計報告
2. 2021年予算計画採択
3. 2021年度会員会費採択
4. 2021年事業計画の採択等

6 動物用医薬品等の開発・改良及び製造技術の向上に関する事業(公益3)

動物用医薬品等の開発・改良及び製造技術の向上は、動物衛生及び公衆衛生の確保、家畜・家きんや養殖魚類の健康増進による畜水産物の安定供給の確保等に不可欠である。

一方、近年、豚熱、鳥インフルエンザ及び豚流行性下痢のように野外発生により畜産農家や地域経済に甚大なる被害をもたらす疾病が発生している。また、自然環境の開発等に伴い、新しいウイルスや細菌などの病原体も出現しており、動物用医薬品等の開発・改良の重要性は年々増している。

そのため、当協会は、広く国内の動物衛生に関する諸問題や国際的な疾病流行やその動向等を調査収集し、動物の健全な育成や福祉を助長するとともに、公衆衛生の向上に資するため、より安全で有効な動物用医薬品等を開発・改良することを目指している。

さらに、動物用医薬品の供給者を会員に有する団体として、その専門性・知見等から政府や畜産関連団体が国民のために行う各種施策や要請の受け皿団体とし、国等と連携し、本事業を推進している。

【海外流行性疾病侵入時対応強化事業】

(令和2年度独立行政法人農畜産業振興機構補助事業)

アジア地域における流行性疾病に対する我が国の動物用医薬品の有効性等に関する情報の収集及び提供を行う事業である。

令和2年度は、動物薬輸入手引書を作成し、輸入手続きの迅速化・円滑化を図ることとし、次のような会議を開催し、事業を実施した。

ア 第1回海外流行疾病侵入時対応強化事業推進委員会

開催日:令和2年7月16日(木)

場所:薬業健保会館 大会議室

議題: 1. 令和2年度海外流行疾病侵入時対応強化事業計画について
2. 動物薬輸入手引書の内容(編集方針)について
3. 動物薬輸入手引書検討委員会の構成について

イ 第1回動物薬輸入手引書検討委員会(電子メールによる意見照会)

期間:令和2年9月4日(金)～9月24日(木)

方法:電子メールによる協議

議題:「動物用輸入手引書」の構成内容(案)について

ウ 第2回動物薬輸入手引書検討委員会

開催期間:令和2年12月7日(月)～17日(火)

方法:電子メールによる協議

議題:1. 「動物薬輸入手引書」原稿(案)の内容について

エ 第2回海外流行性疾病侵入時対応強化事業推進委員会及び第3回動物薬輸入手引書検討委員会合同会議

開催日:令和3年1月14日(木)

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:1. 「動物薬輸入手引書」の編集作業の進捗状況について

オ 第4回動物薬輸入手引書検討委員会

開催日:令和3年3月3日(水)

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題: 1. 「動物薬輸入手引書」(日本語版)の編集作業について(報告)
2. 「動物薬輸入手引書」(英語版)の編集作業について

カ 第3回海外流行性疾病侵入時対応強化事業推進委員会

開催日:令和3年3月12日(金)

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題: 1. 「動物薬輸入手引書」(日本語版)の編集作業について
2. 「動物薬輸入手引書」(英語版)の編集作業について

7 動物衛生向上対策に関する事業(公益4)

近年、家禽類を中心に感染・発症が認められてきた高病原性鳥インフルエンザ

(H5N1亜型株)ウイルスのヒト等への感染例が報告されるようになった。また、動物の感染症が食の安全や地域経済に大きな影響を及ぼす事例が報告されている。

本事業では、家畜等及び使用者に対して甚大で致命的な被害を及ぼす人獣共通感染症等の的確な防除に不可欠な防疫資材の緊急供給を実施し、家畜等の衛生管理の向上に貢献することにより、公衆衛生の向上並びに畜水産物の安定供給の確保を図ることを目的とする事業である。

【動物用ワクチン等保管事業】

(令和2年度国庫補助事業)

一般社団法人全国動物薬品器材協会、動物用医薬品製造販売業者(4社)、農研機構動物衛生研究部門、大学、臨床獣医師(民間診療所、家畜共済等)、都道府県、農林水産省動物医薬品検査所、農林水産省動物衛生課等で構成される「動物用ワクチン等の安定供給委員会」を組織し、ワクチン等の流通調査・分析、保管ワクチン等の選定・保管数量案の作成、緊急時ワクチン等流通等データベースの維持・更新、緊急時ワクチン等流通マニュアルの更新・普及及び効果的かつ効率的なワクチン利用のための情報の周知とともに農林水産省消費・安全局動物衛生課長が指定したワクチン等について保管を行う事業である。

令和2年度において、次のような会議を開催したほか、ワクチン保管の状況の確認も行い、事業を推進した。

ア 第1回動物用ワクチン等保管協議会幹事会

開催日:令和2年7月21日(火)

場所:日本教育会館 704会議室

議題:1. 令和元年度動物用ワクチン等保管事業の報告について

2. 令和2年度動物用ワクチン等保管事業の推進について

イ 第1回動物用ワクチン等の安定供給委員会

開催日:令和2年8月25日(火)

場所:馬事畜産会館 第2, 3会議室

議題:1. 令和元年度事業報告について

2. 令和2年度事業について

ウ 第1回ワクチンプログラム作成検討調査会

開催日:令和2年11月24日(火)

場所:馬事畜産会館 第1会議室

議題:1. 動物用ワクチン利用の手引き(牛用ワクチン編)の改訂について

2. 動物用ワクチン利用の手引き(豚用ワクチン編)の改訂について

エ 第2回動物用ワクチン等保管協議会幹事会

開催日:令和2年12月16日(水)

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:1.令和2年度動物用ワクチン等保管事業の予算執行状況について

2. 令和2年度動物用ワクチン等保管事業の今後のスケジュールについて

3. 令和3年度動物用ワクチン等保管事業について

オ 第2回動物用ワクチン等の安定供給委員会

開催期間:令和3年2月12日(金)～2月18日(木)

方法:電子メールによる協議

議題:1. 次年度保管ワクチン(案)について

2. 動物用ワクチン利用の手引き(牛用ワクチン編)(第3 牛用ワクチン改訂版)(案)について

3. 動物用ワクチン利用の手引き(豚用ワクチン編)(第3 豚用ワクチン改訂版)(案)について

8 収益事業等

動物用医薬品等に対する理解の醸成と知識の啓発・普及に貢献するために書籍を出版する事業である。

(1) 出版事業

動物用医薬品医療機器要覧2020年版

発行時期:令和2年10月

発行部数:1100部

9 その他協会の目的を達成するために必要な事業(相互扶助等事業)

相互扶助等事業として以下のとおり会議等を実施した。なお、意見交換会は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止した。

(1) 意見交換会

ア 会員、関係団体、農林水産省関係者等との意見交換会

開催予定日:令和2年6月5日(金)

場所:KKR ホテル東京

※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。

イ 意見交換会(賀詞交歓会)の開催

開催予定日:令和3年1月5日(火)

場所:KKR ホテル東京

※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。

(2) コンプライアンス活動の推進

ア 第1回コンプライアンス推進委員会の開催

- 日時:令和2年9月17日(月)
方法:Microsoft Teams による Web 会議
件名:令和2年度法令遵守体制の自己点検チェックリストについて
- イ 第2回コンプライアンス推進委員会の開催
開催日:令和3年2月14日(金)
方法:Microsoft Teams による Web 会議
議題:1. 令和2年度法令等遵守体制のチェックリストの集計結果について
2. 令和2年度薬事担当責任者会議の開催について
- ウ 令和2年度薬事責任担当者会議の開催
開催日:令和3年3月29日(月)～4月5日(月)
方法:HP への動画掲載による e-ラーニング
議題:1. 薬機法違反の再発防止及び薬機法改正について
2. 会員からの報告(株式会社微生物化学研究所)
3. 令和2年度法令遵守体制の自己点検の集計結果について

(3)その他

- ア 令和2年度養殖衛生管理技術者養成 本科専門コース研修への参加案内
実施主体:(公社)日本水産資源保護協会
参加者:協会会員9名

以上

附属明細表

事業報告に明細を併せて記述したことから、附属明細表は作成していない。